

令和2年度第1回龍ヶ崎市健康づくり推進協議会会議録

					記録者 健康増進課 土屋葉子
供 覧	部 長	課 長	補 佐	係 長	係 員
件 名	令和2年度第1回龍ヶ崎市健康づくり推進協議会				
日 時	令和2年7月29日（金）午後1時30分～午後3時20分				
場 所	龍ヶ崎市保健センター				
主 催 者	龍ヶ崎市				
出 席 者	<p>【会長】 山村邦男（龍ヶ崎市医師会）</p> <p>【副会長】 後藤光秀（龍ヶ崎市議会）</p> <p>【委員】 飯岡 茂（龍ヶ崎市歯科医師会） 井川静雄（龍ヶ崎市長寿会連合会） 大久保一裕（つくばの里工業団地運営協議会） 明石眞言（龍ヶ崎保健所） 鈴木紗知（龍ヶ崎市養護教諭会） 関口倫子（龍ヶ崎市立学校給食センター第二調理場） 小谷 究（流通経済大学） 松野演之（龍ヶ崎市薬剤師会） 佐々木孝誠（公募の市民） 阿部雅江（公募の市民） 鈴木順子（元気アップ体操指導員）</p> <p>【事務局】 岡田明子（健康づくり推進部長） 岡澤幸代（健康増進課長） 前田壮之（母子保健グループ課長補佐） 松本春生（同主査） 高倉貴子（同係長） 水本奈津子（同副主査） 木村留美（同成人保健グループ主査） 中村恵子（同係長） 市村亜希子（同主幹） 野口あゆ美（同副主幹） 甲斐有花（同主事） 土屋葉子（会計年度任用職員）</p>				
事務局 岡澤課長	<p>ただいまより「令和2年度第1回龍ヶ崎市健康づくり推進協議会」を開会させていただきます。</p> <p>はじめに、委嘱状の交付を行わせていただきます。</p>				
中山市長	(委員に対し委嘱状交付)				
事務局 岡澤課長	<p>なお本日、小嶋三枝子様はご欠席でございます。</p> <p>ただいま皆様に委嘱させていただきました委員の任期につきましては、龍ヶ崎市健康づくり推進協議会条例第4条第1項の規定に基づき、本年6月1日より、令和4年5月31日までの2年間となります。</p> <p>どうぞ、よろしくお願いを申し上げます。</p>				

	<p>それでは続きまして、中山市長よりごあいさつ申し上げます。中山市長 よろしくお願いいたします。</p>
中山市長	(挨拶)
事務局 岡澤課長	<p>続きまして、委員の皆様のご紹介に移ります。ご紹介につきましては、 大変恐れ入りますが、自己紹介のかたちでお願いしたいと思います。 それでは、山村委員からお願いいたします。</p>
各委員	(各委員自己紹介)
事務局 岡澤課長	<p>委員の皆様、ありがとうございました。 続きまして、事務局の紹介に移らせていただきます。</p>
事務局職員	(事務局職員自己紹介)
事務局 岡澤課長	<p>ここで、条例第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数の出席を確認 いたしましたので、本会議が成立したことをご報告いたします。 続きまして、会長の選任を行ってまいります。ここから会長が決まりま すまでの間、会議進行につきましては中山市長にお願いいたします。よろ しくお願いいたします。</p>
中山市長	<p>それでは、会長が選任されるまでの間、会議進行させていただきたいと 思いますので、よろしくお願いいたします。 早速、会長の選任を行なってまいりたいと思いますが、どなたか推薦し たい方がいらっしゃいましたら、お願いしたいと思いますがいかがでしょ うか。</p>
後藤委員	事務局で案はありますか。
中山市長	<p>ただ今、事務局で案はありますかとの意見をいただきました。事務局で 案があればご紹介させていただきたいと思いますが、よろしいでしょ うか。 特にないようですので、事務局で案があればお願いします。</p>
事務局 前田課長補佐	事務局では、山村委員にお願いしたいと考えております。
中山市長	<p>ただ今、事務局から山村委員との提案がありました。皆さんいかがで しょうか。それでは、山村委員に龍ヶ崎市健康づくり推進協議会の会長を お願いすることに決しました。ただ今を持ちまして、私の議事進行役は終 了となります。皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>
事務局 岡澤課長	<p>ありがとうございました。 それでは、山村会長、恐れ入りますが議長席までお越し願います。 山村会長から就任のごあいさつを頂戴したいと思います。お願いいたし ます。</p>
山村会長	(挨拶)
事務局	ありがとうございました。

岡澤課長	これより山村会長に議長として議事進行をお願いいたします。
山村会長	まず、副会長の選任をしたいと思いますですが、どなたか推薦はありますでしょうか。事務局案はありますか。
事務局 前田課長補佐	事務局では、後藤委員をお願いしたいと考えております。
山村会長	<p>皆さんいかがでしょうか。それでは、後藤委員よろしくをお願いいたします。後藤委員、恐れ入りますが、副会長席までお越し願います。</p> <p>ここで、中山市長におきましては、別の公務のため退席されますので、よろしくをお願いいたします。ありがとうございました。</p> <p>次に、会議録署名人の選任ですが、飯岡委員、井川委員をお願いしたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本日の議事に入ります。</p> <p>(1) 第2次健康増進計画・食育計画の概要について、(2) 令和元年度実施状況報告及び令和2年度の取組について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>皆様から頂いた質問については、最後に事務局からお答えします。</p>
事務局	<p>(説明)</p> <p>(1) 第2次健康増進・食育計画の概要説明(市村)</p> <p>(2) 令和元年度実施状況報告及び令和2年度の取組みについて(高倉・中村)</p>
山村会長	<p>今までの事務局からの説明に、ご質問ご意見がありましたらお願いします。</p> <p>まず、事前に寄せられた質問に対する回答を、事務局からお願いします。</p>
事務局 高倉係長	<p>生活習慣病予防の観点からということで、5点ご質問ご意見をいただいております。そちらについて回答させていただきます。</p> <p>こちらの質問には、教育委員会指導課に問い合わせをさせていただいております。市内の小中学校での取組みについて回答をいただきましたので、ご紹介させていただきます。</p> <p>まず、1番目の塩分についてです。毎月配布している給食カレンダーの中で、毎日の献立の材料や調味料、栄養価、エネルギー量やたんぱく質量や食塩量を計算しております。また、給食内容の中で、食事についての大切なポイント、例えば、朝ごはんの必要性やバランスのとれた食事についても掲載しているということでした。</p> <p>2番目、カルシウムの摂取についてです。令和元年度は小学校2年生、中学校1年生を対象に、栄養教諭、学校栄養職員、調理員が給食の時間に訪問し交流給食を行っております。中学校においては、成長期に必要なカルシウムについて実際に食材を用いて説明しております。また、カミカミ給食については、一つの例として根菜やイカ等が入っているカミカミサラダを献立に明記したということです。</p> <p>3番目は、給食食べ残しについてです。昨年度、小中学校から報告があった実践事例を紹介させていただきます。茨城県環境アドバイザーの先生が各校を回り、講話をしていただいております。内容としては、水の大切さを考えようや、土壌の働き、エコクッキング、台所のごみの減らし方などの講話をいただいたそうです。小学校では6校、中学校では3校で実施されております。また、給食センターでは、食べ残しを肥料にする取組も行っております。</p>

	<p>4 番目、地産地消についてです。茨城を食べようウィーク、龍ヶ崎を食べようメニューを採用し、地元食材を活用しました。龍ヶ崎トマト（レディーファースト）を積極的に給食献立に採用しました。令和元年度親子で作る給食献立では、茨城の旬を味わう献立を募集し、901点（小学校302点、中学校599点）の応募があったそうです。</p> <p>5 番目、防煙教育についてです。外部講師を招いた講演会を、全小中学校で実施しております。講師の先生としまして、警察の職員の方をお願いする学校が多くなっているということでした。教室は、参観日を利用して実施している学校が多いのですが、保護者の参加率が低いという課題があるとおっしゃっていました。</p> <p>報告は以上です。</p>
山村会長	<p>以上が市民の方からのご質問の回答ですが、このことに対して何かありますか。</p> <p>1 番の学校給食の塩分は、基準に基づき塩分を減らして食べさせていると思いますが、各家庭での普段の生活がどのようになっているかに言及しなければならぬのかと思います。</p> <p>2 番目に関しても、学校給食がどれだけきちんと食べられているか、そのほうが大きいと思います。それよりも、普段家庭でどのような食生活をしているのか、それ以上に骨粗しょう症のことを考えたら、中学生高校生、もちろん小学生もですが、運動をしっかりとしないと、骨の形成にはカルシウムだけ摂ってもだめです。骨粗しょう症に関しては、30 歳までにいかに運動するか、骨密度を上げるかが非常に大事だと言われています。最近、特に 20 代の女性のやせ願望が、これから相当影響が出てくると思われます。</p> <p>3 番 4 番は、地元の 60 代の方たちが自分たちで家で物を作ろうという動きが出てきています。農家の人に教えてもらいながら、各家庭で身近な土地を利用して作る動きがあります。地元の野菜作りや農家の人たちが、住んでいる人たちに影響を与えると思うので、この辺りの交流を進めることも必要かと思います。</p> <p>5 番目の禁煙に関しては、小中学生の段階から、いかにたばこが害になるかをしっかり教える必要があると思います。今までの学校教育では、なかなか取り組む時間があまりなかったという問題と、大人が吸っているという状況を、10 代の後半になるとそれに慣れてたばこを吸うということが、いまだにまだまだ強いのだらうと思います。特に男性は喫煙率が諸外国に比べて高いと言われています。もっと模範を見せることや、公共施設で禁煙に対する取り組みも含めて、もっともっと進める必要があると思います。先進国といわれているなかでは、日本は先進国とはいえないたばこの取り組み状況です。</p> <p>さて、先ほどの事務局から説明があったことに関して、質問ありますでしょうか。</p>
佐々木委員	<p>前回から引き続き委員になっています。前回、令和元年度の間接報告があり、私は受診率をとっても重要視しています。中間報告では、新規が増えたが、継続している人が減っているというお話をいただきました。今回、報告書を見ると、受診率は横ばいではないかと思います。健康が第一なので、健康診断を受けないといけないと個人では思っています。今は新型コロナウイルスで、そのような状況でないのご説明をいただきました。6 月 10 月 1 月に 3 回やって、前年度より 1.7%減少です。松葉地区で国保加入者が 1096 名、後期高齢者が 753 名に通知を出したということですが、予約状況がもし分かれば教えていただきたいです。</p> <p>もう一つは、「本市の現状と課題」で糖尿病講演会を実施しましたとい</p>

	<p>うことですが、今回は腎臓の講演会を実施予定ということで、日時が分かれば教えていただければと思います。</p> <p>最後に、前回は質問したのですが、たばこです。喫煙する人は害があります。たばこは吸ってはいけないとは言えないのですが、できればやめてほしいというのが私の願望です。先日、新聞に出ていましたが、新型コロナウイルスで、たばこを吸う人は重症化の率がすごく出ているという研究結果の報告もありましたので、喫煙をしないようにしていただく工夫を保健センターで考えていただければと思います。以上です。</p>
<p>事務局 中村係長</p>	<p>今年度の集団健診の状況です。会場が、コミュニティセンターでは狭く密になってしまう点から、保健センター、たつのこアリーナ、福祉センターの3か所で行うことになりました。受付時間も、今までは、例えば9時～11時の間に来てください、というお知らせでしたが、それだと密になりやすいので、30分間隔おきの完全予約制となっております。1日のトータルの受診者数も限られてしまい、1日120名までにしてください、と健診業者から依頼がありました。例えば、今までであれば予約のいらない健診では、1日で230名受診できていたのですが、それが120名にとということなので、大幅に減っています。予約状況ですが、胃がんのセット健診というのが胃がんのバリウムもできる健診、一般健診というのが胃がんのバリウムがない健診になっています。胃がん健診においては、年内の予約が完全に埋っています。1月に3日間集団健診を予定していますが、そちらは少し余裕があります。一般健診は10月以降が少し余裕がある状況です。なので、佐々木委員がおっしゃるように、健診を受けていただいて、自分の体の状況を知るということはとても重要になりますので、今年度も受診勧奨は進めて参りたいと思っておりますが、予約状況をみながら、予約がいっぱいであれば医療機関検診を重点して進めていきたいと考えております。今の予定では、9月の中旬ごろ第一段の受診勧奨はがきを送りたいと考えております。</p> <p>2つ目の糖尿病の講演会についてです。3年前から毎年行っております。腎臓専門医の先生に講演をお願いしているものが、昨年特定健診を受けてHbA1cが6.5以上の方に対して通知を送り、参加を促していきたいと考えております。11月5日の木曜日に予定しております。是非とも多くの方に来ていただきたいのですが、新型コロナウイルスの予防のために、人数を制限し、35～40名に参加を絞らせていただいて、行っていきたいと考えております。</p>
<p>事務局 木村主査</p>	<p>たばこについてです。皆様方の理解を得ながらやっていかなければいけないので、難しいところがありますが、やはり全国的に必要な場所は全面的な室内禁煙、敷地内禁煙になっています。コミュニティセンターにつきましては、アンケートの結果も出ておりますので、そちらをご理解いただきながら、関係課と調整をしつつ進めていきたいと考えております。</p> <p>先ほどの話の追加です。人数が少ないなかで健診の予約をしておりますが、今までは予約をしていたのに無断で来ない方が何パーセントかいたのですが、今回は皆様方も少ない中で予約をとっていただいたということで、かなりの高い率で、休むことなくいらしていただいている実情になっております。</p> <p>講演会につきましては、HbA1cが6.5以上が糖尿病と診断される値になっております。その6.5以上の方に来ていただきたいのですが、人数が少ないので、特に来ていただきたい方からお誘いして、余裕があれば、もう少し低い値の方というように、優先順位をつけてご案内していこうと考えております。以上です。</p>

山村会長	<p>健診に関しては、コロナの影響で、特に企業健診は4月～6月取り消しがあり、ほとんど来なくなっていました。東京で問題になっている街頭での食事は90何%も減ってしまったということですが、健診カットもすごい状態です。私が危惧しているのは、つぶれてしまうところがたくさん出てくるのではないかとというような状況です。健康維持の問題と、コロナによって影響を受けたことによるその後のフォローを、かなり真剣にやらなければいけないと思います。がん健診に関しても、今後相当変わってきてしまうと言われてます。血液一滴で、かなりの部分を予測することができるというものが、この2～3年の間に導入されてくると、今までの集団の胃がん、胃カメラ、大腸がん検診が変わってくると言われています。</p> <p>たばこに関しては、各機関でどのように取り組んでいるか、市役所の中ではどのような取り組みをしているのか報告をしてもらったほうがいいと思います。公共施設で、職員も含めてどのように取り組んでいるのかをおおやけにしたほうがいいと思います。龍ヶ崎市駅東口では、電車を降りるとたばこのにおいがすごいです。私は禁煙外来をやっていますが、駅前を歩いて来た人の呼気検査は異常になってしまいます。それくらい吸っているもので、そちらも何とかしてもらわないといけないと思います。</p> <p>今日は流通経済大学の先生もお見えですが、大学ではどうですか。特に、スポーツも盛んですから、たばこを吸っていると害になると思います。</p>
小谷委員	<p>学内には喫煙所がありまして、学生も教員も吸っています。スポーツ健康科学部の教員も学生も吸っていますので、スポーツに関する学生が喫煙をしている現状は、もちろんあります。私は日体大のバスケットボール部出身ですが、合宿所のほぼすべての人間が喫煙をしていました。その頃から比べると、圧倒的に学生の喫煙率は減っていると感じます。当時、我々はたばこを吸っているのがカッコイイという認識を持っていましたが、今の若者の話を聞くと、たばこを吸っているのはカッコ悪いという話も聞くので、大分意識は変わってきていると感じます。</p> <p>追加で、ここで意見するのが正しいか分かりませんが、児童生徒の体力測定の結果と総合評価が低下しています。山村先生からお話があった骨粗しょう症の予防として、若い時の運動が必要です。後藤委員が、公園にバスケットゴールを設置されていると思いますが、もっともっとバスケットボールのアウトドアコートを作っていただけたらと思います。バスケットボールは、男子も女子もやるので世界の競技人口が最も多いです。今、コロナの現状で屋内施設で運動するリスクが高いため、この状況が続くことを考えると、アウトドアコートがいろいろな所にゴールがあって、男女共に競技ができるという環境が整ってくるといいなと思います。3対3で行われるバスケットボールがオリンピック種目になりました。ミックスというカテゴリーもあり、男女混合でやる種目もあります。少子化でチームが組めない学校が出てきたときに、3人だったら揃うということもあると思いますので、そのようなことも含めて、アウトドアスポーツを作っていただけたらと思います。ハードを整えてもらえれば、イベントや倉庫のメンテナンスは全力で協力したいと思います。アウトドアスポーツを龍ヶ崎市でやっていただけるといいなと思います。</p>
山村会長	<p>バスケットボールが、世界で競技人口が一番高いということは、私は知りませんが、皆さんが一番取り組まれているものが、健康維持のために活かせるということは大事だと思います。今のご意見を事務局で掴んでおいてください。</p>

後藤委員	2点質問させてください。がん検診の受診率が低下しています。大腸がんと肺がんについて、受診勧奨はがきを送付したということですが、このはがきの送付時期とデザインの工夫があるのかどうかお聞かせください。
事務局 木村主査	受診勧奨はがきの送付時期についてです。市でのがん検診は、集団健診をメインに行っていますので、集団健診の予約状況や時期、曜日を見ながら送付しています。国民健康保険で健診を受ける方は、がん検診も受ける方が多いので、社会保険でがん検診を受けていない方をターゲットにしますと、比較的がん健診を受けてくださる方が多いので、社会保険の方をメインの対象にして、お仕事がお休みの土日に来ていただけるよう、日にちを考慮して送付しておりました。ですので、大腸がんにつきましては、はがきで案内しました日程の中でも、第1日目が土曜日だったので、予想以上に混み合いました。デザインにつきましては、40歳以上の方が対象ですので、ご夫婦を意識した写真を載せまして、家庭も大事にしていきたいという意味も込めて、自分だけではなく、家族のことも考えて受けていただきたいと思い、そのようなデザインにしました。
後藤委員	健康診断の書類が郵送されてきても、忘れてしまう人も多いと思います。目標値一覧の表を見ますと、がん検診を受けた方が減少しているというよりも、横ばいで低いという数値だと思うので、デザインも含めてどこかに埋もれてしまわないように、目立たせる工夫をしていただけたらと思います。 もう一つ質問させてください。児童生徒の体力テストの県平均を上回った市の総合評価の割合が低下しているという報告がありました。各年度の実績の数字の割合を見ますと、平成31年度は低下しています。特に男子が低下しています。3か年見てみますと、逆に平成30年度は上がっています。29年度から30年度に上がった要因はどのように考えていらっしゃるのか、そこが知りたいと思ひまして、お分かりになればお願いします。下がっているといえれば下がっていますが、30年度から比べれば下がっていますが、29年度から30年度には上昇している数値ですので、この辺りの要因が分かればお聞かせください。
事務局 松本主査	このデータについて要因までは探ることはできないのですが、最近運動をしているお子さんが少ないのと、運動しているお子さんと、していないお子さんの差が大きく、スポーツクラブに通っていい成績の方もいますし、全然動かなくて成績が上がらないというお子さんもいるということは、学校の先生から伺っているのですが、その時のお子さんたちの活動状況によって変わってくるのかと予測はできると思います。実際、学校でどのような状況なのか、もし養護教諭の先生が分かるようであれば教えてください。
鈴木（紗）委員	逆に質問になってしまうのですが、この体力テストの割合というのは、中学校1年生を対象としたデータなのですか。体力テストは全学年行うものなので、毎年中学校1年生を対象とした結果であるのか、全体のものなのかによっても変わってくると思います。
事務局 松本主査	実績報告書の47ページに対象が書いてありますが、小学校5年生と中学校2年生を対象にした調査になっています。学年を絞った検査結果になっています。
鈴木（紗）委員	本校だけの実態ですが、中学生になりますと部活動を積極的にやるお子さんもいれば、クラブチームで活動している生徒もいるので、そのような

	<p>ところでも差が出てくると思います。やはり本校の体力テストの結果でも、例年下がっていることが体育主任からの声でも聞かれています。なので体育の授業でも、運動ができる子だけが楽しめるのではなく、運動が苦手な生徒であっても体力を少しでもアップできるよう、体づくり運動などの授業の工夫をしています。</p>
山村会長	<p>少子化で生徒の数が減っているなか、体力も落ちているということで大きなことです。流通経済大学の先生、運動をやっている立場で、何かアドバイスはありますか。</p>
小谷委員	<p>バスケットボールコートを。 部活動に入っている子、クラブチームの子は運動します。部活動でコーチがいて、競技力向上でガンガンやりたい子もいます。でも、ニーズはいろいろだと思います。もう少し緩くやりたい子もいます。やりたいときにやりたい子や運動をたまにしたいという子たちに、常に開かれている、いつでもスポーツできるような場があまりにも少ないのではないかと感じています。大学でも部活動があって、バスケットボールはサークルがあります。このサークルがあるということが大学のいいところかと思っています。競技力向上というより、バスケットボールを楽しみたいというニーズの学生たちに応えることができます。中学高校では、このサークルに当たる部分が抜けているので、そのような子たちがスポーツする場所がないのかと思います。そのような意味でも、スポーツができる場所を設けてもらえると変わってくるのかと思います。</p>
山村会長	<p>小中学校の養護の先生同士でお話を出していただいたり、体育の先生にこのような話が出たことを伝えてもらえるといいと思います。学校内で出てきた話がお互いに持ち寄れるといいと思います。私は、学校保健委員会などで思うのですが、立場立場で発言はしていますが、議論はしていないと感じます。ぜひ体育の先生にぶつけてみてください。 保健所の中村委員がいらっしゃいますので、今までの健康づくりの問題と、たばこという非常に大事なことも出てきましたので、保健所の立場からアドバイスをお願いします。</p>
中村委員	<p>私の課、健康増進課でも健康づくりや喫煙の防止を担当させていただいています。受動喫煙防止については、今年の4月から飲食店なども含めて屋内禁煙が原則となっています。たばこを屋内で吸えることになっているところがあるが、どうなっているのかと問い合わせがあります。そのような所には実際に見に行き、増進法の話を見せていただいています。健康増進法では、小さなお店については特例で屋内でたばこを吸えるのですが、そのような場合は入り口に、20 未満の方は入れない表示をして、受動喫煙に遭わないような措置を設けることになっていますので、そのような指導を行っております。</p>
山村会長	<p>今回、公募でみえた阿部委員はどうですか。</p>
阿部委員	<p>私は学校教育の立場で20年近く仕事をしていました。退職をして何か地域に貢献できないかと思い、今回公募させていただきました。5点ほどメールで質問をしたのは私です。 特にお願いしたいことは、コロナになったからこの年度はやらないというのは、学校教育では絶対許されないことだと思っております。健康教育は、幼いうちからやらないとだめで、結局、学校教育の場は学校教育に任されてしまうので、学校でやってほしいと投げられてしまいます。それで</p>

	<p>成人になって病気が発症することになってしまうのではなく、やはり段階を踏んでやっていかなければいけない健康づくりだと思っております。今回、全部読ませていただいて、喫煙率の高さに驚きました。茨城県のデータを見たらもっと高く、喫煙することは絶対によくないです。がんも発症するし、成人病の基礎疾患にもなることを考えると、学校教育の中で、警察を呼んだりすることも分かりますが、学校内でどうするかを考えてほしいと思います。例えば、ここの保健師さんに来ていただいてやっていくのもいいと思いますが、授業として作っていく、ポスター制作し保護者と一緒に歩いて、保護者も巻き込んでやっていくという教育もできるのではないかと考えました。一步踏み込んで、養護教諭会や体育主任会と協力して、このような時こそ作っていくチャンスではないかと思っております。</p> <p>学校給食に関しても質問を出させていただきました。センター給食の限界はあると思いますが、食べることは人間を作るだけでなく、頭脳も心も、すべてを作っていくものです。コロナになって、食をもっと大事にしてほしいと思います。栄養教諭の先生もいらっしゃるので、学校教育の中で、もっと校長先生にやってください、と言ってほしいと思います。</p>
山村会長	<p>学校教育の中で、具体的に取り組まないと生徒の自覚を上げられないのではないかという話だと思います。外からの講演だけでなく、学校で教えている時間の中で、もっと取り入れるべきではないかと思っております。先生方が日常的に、国語なら国語だけを教えるのではなく、その中に健康のこと、たばこのことを入れていくと、もっともっと子供に入るのではないかと、私も日頃から思っておりました。</p> <p>他にありますか。</p>
佐々木委員	<p>令和2年度の取り組みとして、たばこの害や肺疾患についてのチラシやポスターを、保健センターや市役所庁舎に掲示しますということなので、掲示してあると思うのですが、どこに掲示しているのか、チラシがあればいただければと思います。また、掲示してあるのなら、市民の反響がどの程度あるのか教えていただければと思います。</p>
事務局 高倉係長	<p>禁煙外来のチラシは、カラーで一つ作っています。これは、保育所や幼稚園、健診に来た保護者の方にお配りしています。市役所の喫煙場所などに貼るポスターについては、まだ未作成ですので、今後取り組んでいきたいと考えております。</p>
山村会長	<p>他にありますか。 ご意見がなければ、終わりたいと思います。</p>
事務局 岡澤課長	<p>山村会長、後藤副会長ありがとうございました。</p> <p>事務局からお伝えしたいことがございます。現在、進行管理しております第2次健康増進食育計画は、令和3年度までの計画となっております。本年度、市民の健康づくりに関する実態調査を行う予定でございました。ところが、コロナの流行がありまして、全庁的にも検討しているところで、現在、この時期に市民アンケートを徴収しても、実際の市民の実態把握につなげることは難しいのではないかという意見が出されております。生活習慣が変わってきていることもありますので、9か月くらい延ばしてアンケートをとってもいいのではないかという意見が出ております。また、健康増進計画の上位計画にあたる、ふるさと戦略プランにおきましても、評価のタイミングや見直しの必要性も示唆されておりました。このようなことを踏まえつつ、健康増進計画の計画期間や、アンケートの実施時期を見直す予定がありますので、はっきりしましたら、この協議会にも</p>

公開したいと思いますので、事前にお知らせしておきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは、協議会自体の審議事項は終わりましたので、次回の協議会のお知らせをしたいと思ひます。冒頭に会議録署名人を選任させていただきました。本日の会議録がまとめ次第、山村会長、飯岡委員、井川委員には、後日、ご署名の願ひにあがりますので、その際はよろしくお願ひいたします。

また、次回の健康づくり推進協議会については2月ごろを予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。新型コロナウイルスの流行が大きく変わらなければ実施する予定ですが、万が一、緊急事態宣言が出されますと、このような協議会を開催することは大変難しくなりますので、その際には早めにご連絡をしたいと思ひます。

それでは、以上を持ちまして、令和2年度第1回龍ヶ崎市健康づくり推進協議会を終了いたします。皆様、長時間お疲れさまでした。

情 報 公 開	公 開	非公開(一部非公開を含む)とする理由	(龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当)
		公開が可能となる時期 (可能な範囲で記入)	年 月 日

上記については、令和2年7月29日（金）に開催した令和2年度第1回龍ヶ崎市健康づくり推進協議会の会議録に相違ないことを確認したので署名する。

令和 2年 月 日

委員長\_\_\_\_\_

会議録署名人\_\_\_\_\_

会議録署名人\_\_\_\_\_